

# 環境経営レポート 2023

株式会社 池田製作所



【 2023年 3月 ~ 2024年 2月 】



環境改善  
エコアクション21  
認証番号

発行日 : 2024年 3月 19日

## 《 目次 》

I. 環境経営方針	P-1
II. 会社概要・事業内容	P-2
III. EA21 推進体制	P-3
IV. 環境目標とその実績	P-4
V. 環境活動の取組みと評価	P-5、P-6
VI. 環境関連法規制の遵守状況	P-7
VII. 代表者による全体評価と見直しの結果	P-7

# I. 環境経営方針

## 【基本理念】

私たちは、地球環境保全が人類共通の使命であることを認識し、事業活動に係わる全ての面で、環境保全に配慮して行動します。

## 【基本方針】

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ継続的に取り組みます。

1. 当社の主力事業である、金型の設計・製作からプレス加工・溶接加工・塗装までの各領域において、技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響の低減に努めます。
  - ① 二酸化炭素排出量削減のため、使用電力の削減に努めます。
  - ② 事業活動で発生する廃棄物は、発生の抑制に努めます。
  - ③ 水使用量削減のため節水に努めます。
  - ④ 生産ロス削減のため、継続的な工程改善に努めます。
2. お客様本位で考え最適なソリューション提案型企業を目指します。
3. 環境活動を推進するにあたり、環境目標・環境活動計画を策定し取り組みます。策定した目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。
4. 事業活動に伴って適用される環境関連法規制、各種条例、顧客、業界団体からの要求事項を遵守します。
5. 環境方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識の向上を図ります。
6. 環境活動に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

株式会社 池田製作所  
代表取締役社長

池田 剛一

---

改定 ; 2022年 3月 1日

## Ⅱ. 会社概要・事業内容

### 1. 事業者及び代表者名

株式会社 池田製作所  
代表取締役社長 池田 剛一

### 2. 所在地

〒 373-0847 群馬県太田市西新町135-3（太田西部工業団地）

### 3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者	:	代表取締役社長	池田 剛一
環境管理責任者	:	管理部 部長	茂木 和明
担当	:	環境事務局	川島 静生
連絡先	:	TEL	0 2 7 6 - 3 1 - 3 1 3 1
		FAX	0 2 7 6 - 3 1 - 3 1 3 6
ホームページアドレス	:	<a href="https://www.ikeda-mfg.jp">https://www.ikeda-mfg.jp</a>	

### 4. 事業、サービス内容、活動内容（認証・登録範囲）

自動車ブレーキ部品、自動車ショックアブソーバー部品、その他自動車機能部品等に使用するプレス金属加工部品の製造・塗装及び板金プレス金型の設計・製作  
全社、全組織、全活動が対象

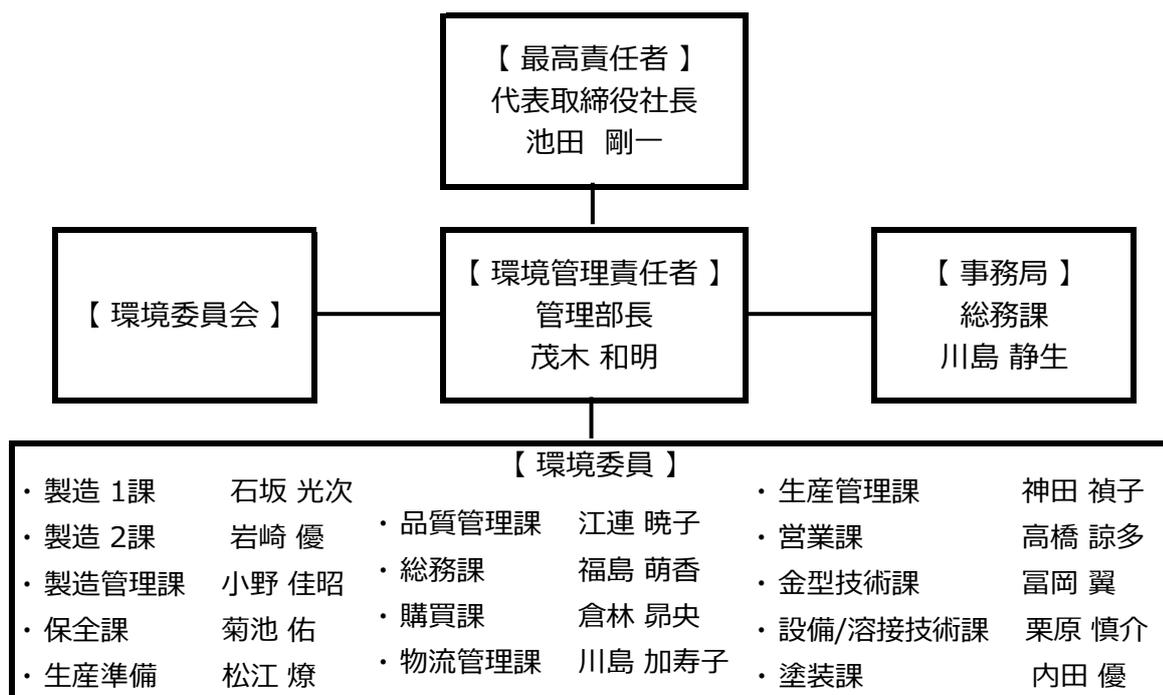
### 5. 事業規模

(1)	従業員数	:	302名
(2)	面積合計	:	土地 29,756㎡ 建物 16,619㎡
(3)	資本金	:	4,800万円

### 6. 取組み期間

2023年3月～2024年2月（池田製作所 第62期）

### Ⅲ. EA21 推進組織図



職名	役割
最高責任者	<p>【代表取締役 池田 剛一】</p> <p>① 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。</p> <p>② エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。</p> <p>③ 環境経営方針を制定する。</p> <p>④ エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・目標・計画等、システム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。</p>
環境管理責任者	<p>【管理部長 茂木 和明】</p> <p>① エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。</p> <p>② エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。</p>
事務局	<p>【川島 静生】</p> <p>① 事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。</p>
環境委員会	<p>環境管理責任者・事務局・部門推進員で構成し、月1回環境管理責任者が召集する。環境経営目標の設定、環境経営計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。議事運営内容は、最高責任者が確認し必要な指示を行う。</p>
一般従業員	<p>環境経営方針を理解し、環境経営目標を達成するための各施策について取り組みを行う。</p>

## IV. 環境目標とその実績

2022年度（前期）から塗装工程の追加により、21年度の実績（塗装含む）を基準値として22年度以降の目標を変更しています。

二酸化炭素の排出係数は“0.474kg-Co2/ kWh”を使用しています。

### 1. 2023年度（62期）の目標と実績について

環境経営目標	単位	基準値	2023年度		2024年度	2025年度	2026年度
		削減率	目標	実績	目標	目標	目標
売上げ100万円 当り二酸化炭素排 出量の削減	kg- Co2/ 百万円	455.8 (21年度)	451.2	<b>386.20</b>	385.15	382.87	380.59
		削減率	基準比 1.0%減	<b>15.27%減</b>	2023年度比 0.5%減	2023年度比 1.0%減	2023年度比 1.5%減
売上げ100万円 当り廃棄物の削減	kg/ 百万円	1360 (21年度)	1,346	<b>910.87</b>	906	901.7	897.2
		削減率	基準比 1.0%減	<b>33.02%減</b>	2023年度比 0.5%減	2023年度比 1.0%減	2023年度比 1.5%減
1人当り水使用量 の削減	m <sup>3</sup> /人	38.13 (22年度)	38.13	<b>37.13</b>	36.22m <sup>3</sup>	36.22m <sup>3</sup>	36.22m <sup>3</sup>
		削減率	実績維持	<b>2.62%減</b>	基準比 0.5%減	基準比 0.5%減	基準比 0.5%減
		総量 11,096	総量 11,096	総量 11,213	総量 11,041	総量 11,041	総量 11,041
化学物質取扱い 及び管理の徹底	—	—	使用量 管理の 継続	管理手順の 遵守	使用量 管理の 継続	←	←
工程内不良 の削減	%	NG数/ 総生産数	不良率 0.08% 以下	<b>0.154%</b>	不良率 0.08% 以下	不良率 0.08% 以下	不良率 0.08% 以下
検査不良 の削減	%	NG数/ 総検査数	不良率 0.4% 以下	<b>0.509%</b>	不良率 0.4% 以下	不良率 0.4% 以下	不良率 0.4% 以下

### 2. 主な環境負荷実績

環境への負荷		2021年度	2022年度	2023年度
①	二酸化炭素排出量（kg-Co2）	2,310,123	3,000,422	<b>2,964,067</b>
②	廃棄物排出量（一般廃棄物含む）（kg）	8,491,473	7,815,196	<b>6,990,961</b>
③	水資源投入量（m <sup>3</sup> ）	3,022	11,096	<b>11,213</b>
④	売上金額（百万円）	6,300	7,300	<b>7,675</b>

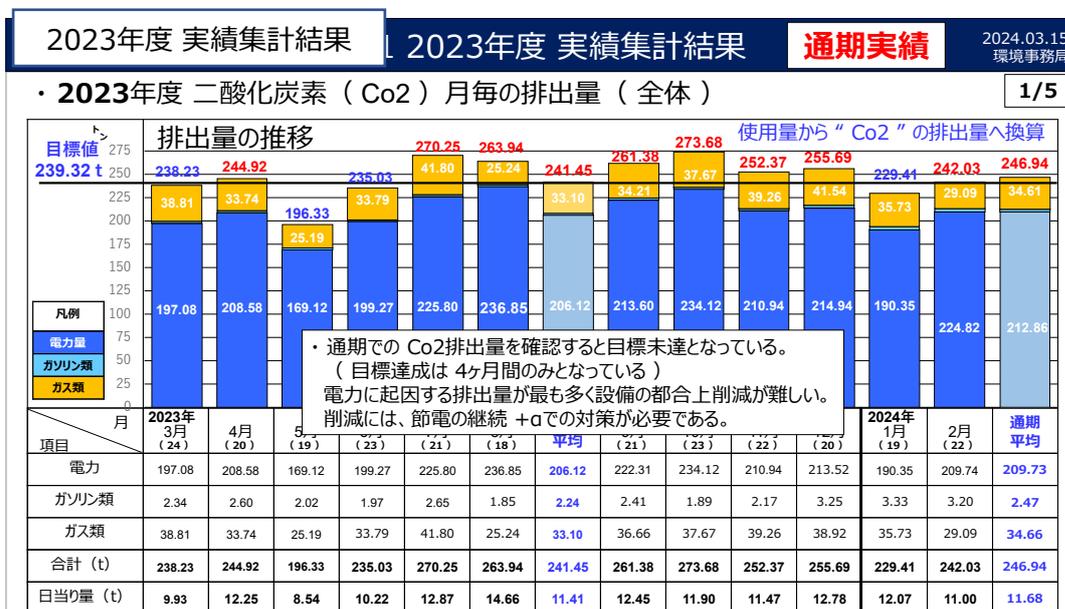
## V. 環境活動の取組みと評価

### 1. 二酸化炭素排出量の削減

環境取組み計画	取組み結果と評価
目標：2021年度実績に対して1.0%減  ① 空調温度適正化・表示 ② 照明・PC電源不要時のOFFの推進 ③ 電力、ガソリン量の集計 ④ 工場内照明のLED化 ⑤ コンプレッサー配管見直し ⑥ 遮熱塗装工事（室外機） ⑦ 目標達成状況・活動進捗状況確認	評価；○  結果として目標値を達成しているが、活動の遅れや実施出来なかった項目もあった。来期の計画では、今回の反省を踏まえて活動施策を設定する必要があります。
次年度の取組み内容 Co2削減のために継続して太陽光発電や遮熱塗装など電力を抑制する活動を推進する。	



年度末にエアコン室外機の遮熱塗装実施。

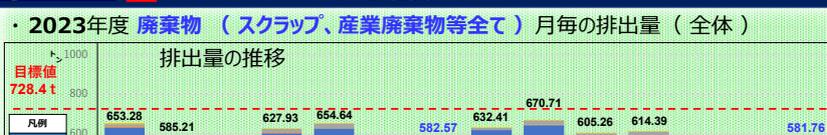


## V. 環境活動の取組みと評価

### 2. 廃棄物の削減

環境取組み計画	取組み結果と評価
目標：2021年度実績に対して 1.0%減  ① 産廃Box内の確認 ② 廃棄物置き場の片付け ③ 廃棄物排出量の集計 ④ 分別ルールの見直し ⑤ 目標達成状況・活動進捗状況確認	評価；○  年度毎に全体の排出量は減少傾向となっているが、殆どがスクラップ減少に起因している。産廃やもえるごみの削減が必要である。
次年度の取組み内容 廃棄物の分別を継続し、リサイクル化を定着せごみの排出量を抑制していく。	

#### IKEDA 2023年度 EA21 15-24



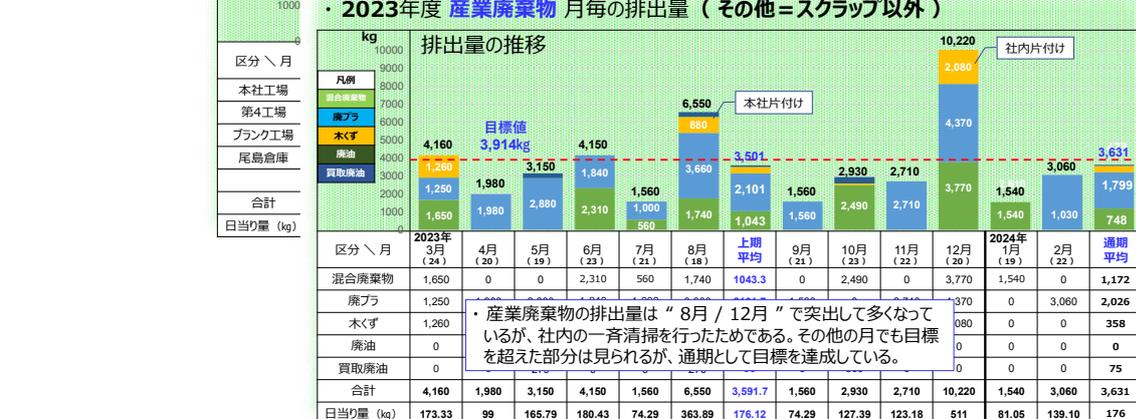
#### IKEDA 2023年度 EA21 16-24



#### IKEDA 2023年度 EA21 17-24



#### IKEDA 2023年度 EA21 18-24



社内より排出される“スクラップ、産廃、もえるごみ等”分類し集計及び監視を行っている。

### 3. 水使用量の削減

環境取組み計画	取組み結果と評価
<p>目標：2022年度の使用量実績の維持</p> <p>① 水道/トイレの節水 ② 塗装工程配管のもれ確認 ③ 目標達成状況・活動進捗状況確認</p>	<p>評価；×</p> <p>水の使用量は増えており、目標を大きく超えた実績となっている。特に塗装品の出来栄えに水量は影響するため削減は難しい。</p>
<p>次年度の取組み内容</p> <p>塗装工程の追加により、使用量が大幅に増加したため塗装工程を重点的に監視を行う。</p>	



### 4. 化学物質取扱及び管理の徹底

環境取組み計画	取組み結果と評価
<p>目標：—</p> <p>① 化学物質含有製品の購入量把握 ② 全体の購入量把握 ③ 新規購入品のSDSの入手 ④ 取扱商品一覧表の改訂 ⑤ 管理手順の策定</p>	<p>評価；○</p> <p>各部門で使用している化学品の量は継続して監視を行っている。今期は使用量が増えた結果となっている。</p>
<p>次年度の取組み内容</p> <p>取組みを継続していく。</p>	

### 5. 本業に関する目標

環境取組み計画	取組み結果と評価
<p>目標：—</p> <p>① 工程内不良の削減 ② 検査不良の削減</p>	<p>評価；×</p> <p>製造部門、品質部門を中心に削減に向けた活動を行っている。来期も継続した工程改善を進める必要がある。</p>
<p>次年度の取組み内容</p> <p>会社方針に基づいた各部門毎のアクションプラン内の取組みを行う。</p>	

## VI. 環境関連法規制の遵守状況

### 1. 当社に適用となる主な環境関連法規制

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
フロン排出抑制法	定期点検対象設備一覧の作成 定期点検記録の保管	遵法
浄化槽法	浄化槽リスト、設置場所一覧の作成 定期点検記録の保管（水質検査）	遵法
騒音規制法	特定施設の設置届、特定施設の移動届等 騒音測定記録の保管、 敷地境界線での規制値遵守	遵法
振動規制法	特定施設の設置届、特定施設の移動届等 振動測定記録の保管、 敷地境界線での規制値遵守	遵法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物処理業者との契約、マニフェスト 伝票交付・保管及び交付状況の報告	遵法
労働安全衛生法	安全衛生推進者の専任、作業環境測定 の実施	遵法
消防法	防火管理者の設置、消防用設備等設置 各種届出の実施	遵法

### 2. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去 3年  
間ありません。

## VII. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表者による評価コメント

自動車業界に限らずカーボンニュートラルに向けた活動が活発になってきている。社内  
でも Co2削減に向けた取組みとして太陽光発電など新たな取り組みが必要と考えて  
おり、設置を検討していく。